

# 9月定例議会

# 行政報告

(1)

平成23年9月定例議会は、9月6日に開会、9月16日までの会期中で開かれました。議会初日には、行政報告と上程された各議案の大綱質疑、また8日、9日には一般質問が行われました。この後、各常任委員会で付託された議案を審議し、16日の最終日に採決が行われました。9月定例議会の行政報告についてお知らせします。

## 総務部関係

### ■総務課

被災地への職員派遣については、既に震災被災地に延べ50人を派遣していますが、能代市から協力要請があり、災害援護資金等の業務支援として岩手県大船渡市へ7月から12月までの間に職員延べ5、6人を派遣します。また、7月末の豪雨により甚大な被害を受けた新潟県三条市から水害サミットの縁で職員の派遣要請があり、被災住宅調査のため8月3日から8月8日まで職員2人を派遣しました。

夏休みを利用した福島県からの被災児童・生徒の一時避難については、市内8か所の宿泊施設におよそ200人を受け入れました。滞在中は無料開放された観光施設や小学校のプールの利用、北欧の杜公園、火まつり見学など楽しみました。



▲8月17日の豪雨により農地等に立木等が流される（今泉地区）

8月17日の豪雨発生により、災害警戒部を立ち上げ、対応に当たりました。8月23日現在確認された住家の被害は床上浸水8棟、床下浸水37棟、非住家4棟、農作物は水稲を中心に94・2haが冠水、倒伏などの被害が発生しています。また、農地・農業用施設、林道、市道、水路等被害については調査中ですが、早期の復旧に努めます。

### ■総合政策課

平成23年度の移動行政懇話会は、8月25日から30日の日程で阿仁、森吉、合川、鷹巣の順に開催しました。市からは「北秋田市の防災について」と「災害時要援護者避難支援制度」について説明し、協力をお願いしました。

### ■内陸線再生支援室

秋田内陸線に関する地域懇談会が6月29日から7月11日にかけて市内4か所で開催され、会社側から内陸線の現状や23年度の取り組み、利活用のお願、活性化本部からはマイレールキャンペーンや駅ターミナルパワーアップ事業の説明と協力依頼、参加者からは内陸線に対する要望や意見などが出されました。

内陸線の利用促進と沿線の交流を深める秋田内陸地域公共交通連携協議会主催の第5回秋田内陸線グラウンド・ゴルフ大会が8月30日、大野台ハイランドを会場に開催され、仙北市や大仙市、北秋田市、大館市などの愛好家約170人が参加しました。

## 財務部関係

### ■財政課

平成23年5月28日～8月15日までの工事等発注状況（500万円以上）は30件、契約額は5億6327万5千円です。

### ■税務課

平成23年7月1日現在の市県民税は、納税義務者数が1万5175人、課税額が14億8982万9900円です。国民健康保険税は6332世帯、課税額が6億193万6000円です。

## 市民生活部関係

### ■生活課

7月7日に市道「大野岱線」周辺で「美しいふるさと北秋田クリーンアップキャラバン隊」で不法投棄廃棄物（不燃ごみ80kg、廃家電65台、廃タイヤ29本）を回収し、北秋田市内の環境美化に努めました。

福島第1原発事故による放射能汚染問題については、秋田県が公表している県内市町村の空間放射線量の調査結果（8月9日）によると市内の放射線量の値（0・04マイクロシーベルト毎時）は通常のレベルという結果が出ています。

「子どもと高齢者の事故防止」を運動の重点として、夏の交通安全運動を8月1日から8月10日まで実施しました。

日常生活する家電製品による事故を未然に防止し、消費者の安全を守るため、7月27日に安全3法に基づき市内3店舗に立ち入り、テーブルタップなど8品目を検査した結果、

検査対象品目については、すべて適正に販売されています。  
市民提案型まちづくり事業については、一次募集に応募があった2団体がいずれも採択され事業実施中で、現在二次募集を行っています。  
クリーンリサイクルセンターへの4月から7月末までのごみ搬入量の実績は、約4180トで、前年同期と比べ、104トの減です。

### ■市民課

平成23年7月末現在の住民登録者数は、3万6740人で、その内訳は男1万7220人、女1万9520人、世帯数は1万4515世帯です。一般旅券（パスポート）の交付件数は、4月から7月末まで76件です。国民健康保険前期高齢者受給者証の交付者数は2253人、後期高齢者医療被保険者証の交付者数7749人、福祉医療費受給者証の交付者数は3910人です。（8月1日現在）

## 健康福祉部関係

### ■福祉課

7月14日に第61回社会を明るくする運動の市民集いが開催され、28団体約300人の参加者が銀座通りをパレードし、文化会館では法務大臣メッセージの朗読等を通して犯罪や非行の防止について啓発を行いました。

8月23日に北秋田市戦没者追悼式が文化会館で行われ、遺族や市の関係者など約240人が参列し、戦没者の御霊に献花を行いながら今日の平和で豊かな郷土の発展の礎となった戦没者を偲び、恒久平和の誓いを新たにしました。  
各保育園は、7月、8月に恒例の「夏まつり」行事を行い、園児と地域との交流が図られました。  
6月29日に虐待防止等総合支援地域協議会を開催し、関係機関・団体及び学識経験者から26人を委員に委嘱して、関係機関が情報の共有と連携を図りながら、虐待やいじめの防止、早期発見及び早期対応に取り組みすることにしました。



▲26名の委嘱状が交付され情報交換を行った虐待防止等総合支援地域協議会

北秋田市ハートフル倶楽部委員会については、7月1日に委員の委嘱を行い、今後も男女の出会いの場づ

くりをサポートとして取り組んでいくことを確認しました。

障がい者計画及び第3期障がい福祉計画策定については、7月11日に第1回策定委員会を開催し、関係機関及び一般公募者からの13人を委員に委嘱し、障がい者施策の今後の方向を示す計画書策定に向け、意識調査アンケート等を実施しながら年度内の策定を目指します。

### ■高齢福祉課

本年度から、主として要介護状態となるおそれの高い状態にあると認められる65歳以上の方達を対象として、要介護状態となる事を予防し、活動的で生きがいのある人生を送っていた、ためた二次予防事業対象者把握事業を行っています。調査対象者1万1577人に対してアンケート方式のチェックリストを配布し、7月31日現在、回収率は66・4%です。未提出世帯については、今後できるだけ個別訪問を行い実態の把握に努めます。

### ■医療推進課

北秋田市地域医療連携センター運営協議会については、7月25日、第1回目の協議会を開催しました。当協議会の目的は、今年4月に新設した「北秋田市地域医療連携センター」の円滑な運営をサポートするもので、医療機関・介護サービス事業所など



▲北秋田市地域医療連携センターの円滑な運営をサポートする運営協議会

### ■診療所関係

4月から7月までの3診療所の外来患者数については、阿仁診療所では、内科3711人で前年同期対比321人の減、外科3696人で前年同期対比121人の減、歯科1437人で前年同期対比13人の減です。合川診療所では、5666人で前年同期対比91人の減です。  
また、今年4月に開所した米内沢診療所では、内科8086人、小児科628人、整形外科1874人、脳血管外科578人、心臓血管外科99人です。